

地元の支援者の方々と一緒に環境体験学習 『葉っぱで学ぼう』を行って

古田洋理（3年生担当）・小野東小学校3年生（小野市立小野東小学校）

小野市立小野東小学校は、北播磨地域にあります。この地域で活動する北播磨自然観察サポーターチーム「おおばこの会」（支援者）の方々と兵庫県立人と自然の博物館の協力を得ながら、環境体験学習プログラム『葉っぱで学ぼう』（6月に「葉っぱでビンゴ」、11月に「葉っぱでアート」など）を実施しました。

■ プログラム「葉っぱでアート」

環境体験学習の一環として3年生は、自分たちの身近にある自然を、木の葉や実を触ったり、におったりする体験を通して学びました。ここでは、11月上旬に実施した「葉っぱでアート」を紹介します。

＜プログラム＞

対 象：5クラス（児童141名）

指導者および支援者：教員6名＋「おおばこの会」11名

活動時間および内容：

10分 内容の説明および支援者の方々の紹介。

児童7～10名の班に対して支援者1～2名についてもらった。

30分 学校および裏山を班ごとに散策しながら（子どもたちは自分がつくりたい生き物をイメージしながら）木の葉（面白い形、紅葉したもの）、実、枝などをさがし、春（6月）の裏山との違いを感じる。また、同時に自然の素材を使っての遊びや植物の豆知識を支援者の方から教わる。

40分 採取した葉、実、枝などを紙上に貼り、生き物を描く。

20分 同じ紙上に感想や工夫したことを書き込み、活動をふりかえる。片付け。

■ 子どもたちの感想

＜感想（気づいたこと、驚いたこと）＞

子どもたちからは、「いつもは見たことのない葉や実を見つけて びっくりした。」、「いろいろな葉っぱで生き物ができておもしろかった。」、「なんてんの実を目にできた。」、「こんなことができるなんて思わなかった。」などの意見がありました。

